



# 白百合

平成30年3月発行

(公財) 宮城県母子福祉連合会

〒983-0832

仙台市宮城野区安養寺 3-7-3

宮城県母子・父子福祉センター内

TEL・FAX 022-256-6512

<http://www.h2.dion.ne.jp/~miyagi-b/>



宮城県母子福祉連合会 会長挨拶

畠山 ことゑ

(全国母子寡婦福祉団体協議会評議員)

早春の候、御清祥のこととお慶び申し上げます。(寒さに耐えて咲く花のごとく) さくら便りが各地から聞かれる今日この頃でございます。皆様方も各地で元気に活動されていらっしゃる事と存じます。平成29年度は、県大会、東北ブロック大会と役員会員の皆様には、ご尽力ご協力下さいまして本当に厚くお礼申し上げます。震災も7年目になりますが、命を守ること、お互いが力を合わせ支え合い助け合うことの大切さを痛感しております。これからも、子供の幸福の為に、公益法人としての役割を認識し、各種の事業に取り組んでまいります。皆様のご健勝を祈願し、ご挨拶とさせていただきます。

## 県知事要望

平成30年1月12日(金) 畠山会長、引地副会長、笹木副会長3名による県知事への要望活動を行いました。県の渡辺保健福祉部長、阿部子育て支援課課長補佐にご対応いただきました。



(会長から渡辺保健福祉部長へ要望書を提出)

### 県知事への要望事項(抄)

- ・安定した住居の確保、保育所の待機児童の解消、放課後児童クラブ等への優先入所と利用時間の拡大
- ・児童扶養手当支給の所得制限の緩和、同居親族の所得要件の廃止と第2子以降の子どもに対する手当の増額
- ・給付型奨学金制度の高校及び大学への拡充及び私学助成の拡充
- ・東日本大震災で、長期の避難生活を余儀なくされている子どもに対する心と体のケアなどの充実強化

## 仙台市長要望

平成30年1月17日(水) 畠山会長、引地副会長、笹木副会長3名による仙台市長への要望活動を行いました。仙台市の福田子供未来局長、山田子供保健福祉課長、佐藤子供家庭支援課長にご対応いただきました。特に仙台市には市独自の給付型奨学金の創設を要望しました。



(会長から仙台市福田子供未来局長へ要望書を提出)

### 仙台市長への要望事項(抄)

- ・安定した住居の確保、保育所の待機児童の解消、放課後児童クラブ等への優先入所と利用時間の拡大
- ・児童扶養手当支給の所得制限の緩和、同居親族の所得要件の廃止と第2子以降の子どもに対する手当の増額
- ・仙台市独自の給付型奨学金制度の創設

## 第55回宮城県母子寡婦福祉大会の講演概要

平成29年9月3日（日）名取市文化会館を会場に講演会を開催しましたがその概要をご紹介します。

### 講演 1 「母子会活動あれこれ」

講師 青森県母子寡婦福祉連合会 副会長 引間 由実子 氏

青森県では、会員の高齢化、加入者の減少、定着度が低いことなどが課題となっています。母子会の良い所は理解・共感しあえる、情報交換ができる、会の役員さんは母子福祉制度に詳しい、たくさんの仲間がいる、世代を超えた交流ができる、などが上げられます。私の場合は若いお母さん方で活動をさせてもらい非常にありがたかった経験があります。新入会員の過去を根ほり葉ほり詮索しない、否定しないことがよかったです。

母子会に求められることを考えると当事者団体としての福祉向上の活動、次世代の育成、ひとり親の声を行政に届けることなどがあると思います。母子、寡婦を取りまく状況は昔と比べるとだいぶ変化しています。寡婦の方も仕事や介護、孫の世話で忙しい方が多くなっています。行事に参加できないことをあまりこだわらないで欲しいです。若いお母さん方の声を聞いてその結果を伝えるなど還元していくことが大切です。そして次の世代の育成をして行くことが必要だと思えます。

運営側の人手不足がありますが現状に合わせた運営を工夫しています。他者の力を借り、今できることをできる範囲で無理をしないことが大切です。青森県ではクルー会員の制度を設け、学生や保育仲間、PTA仲間を巻き込み、親子ふれあい研修旅行、ひとり親家庭生活支援懇話会、指導者研修会などを開催しています。

若い人にとっても母子会は大切な組織です。次世代が育つまで時間がかかりますので見守って欲しいと思います。私たち母子会は「母子寡婦福祉の向上」という使命を背負った同志です。みんなで頑張りましょう。（文責 事務局）

### 講演 2 「叱らない子育て — 笑顔に出会う関わり方

講師 ニューエイジカウンセリング研究会 今野 廣子 氏

人は心の安心安全が大切です。安心、安全が脅かされると不安になり、その不安を解消しようとして怒ったり、怒鳴ったりする行動を取ようになります。

私たちが安心して安全な状態にあってリラックスする事が大事です。

子供は6か月くらいまでは一番信頼できる人が子育てをすることが大事です。

笑顔で子供に接する事が「自分は安心できる相手ですよ」という事を子供に示すサインになります。子供の気持ちを認める関わりを十分に取って、安心、安全の関わり方の根っこが出来た子供は落ち着いた子供に育ちます。

子供の言動には理由があります。何故そのような言動をするのか、子供の気持ちを分かってあげる事が大事です。

子供からすれば、自分を認めて貰うことが自信に繋がります。何かあった時は子供の気持ち、相手の気持ちに沿って問題の解決の方向に向いて行けば良いと思います。母親が子供の気持ちを分かって、子供に説明してあげると人として尊重されているという事が伝わります。それが子供の自尊心に繋がって行きます。子育てで忙しい時はどこかで手を抜くことも必要です。真面目すぎないようにする事も考えてみてはどうでしょうか。

人間関係は言葉のキャッチボールの相互関係で成り立っています。言葉には感情があります。この感情を、気持ちを伝え合う事が大事です。感情自体には良い、悪いはありませんが、感情を処理するためにする行動、行為に良い悪いがあります。子供がどんな感情を示してもその感情を受け止めてあげることが必要です。

ちゃんと子供の気持ちに沿って話を聞いてやると子供は自分で答えを見つけます。それを認めて、笑顔に出合うために子供の気持ちを聞いてあげる、気持ちに沿ってあげる事が大事です。（文責 事務局）





## 母子会だより

### 「角田市母子福祉活動報告」

角田市母子福祉会会長 笹木 まち子

角田市母子福祉会では、昨年5月20日（土）に、市民センターにおいて総会を開催し、会員55名が参加し、大友角田市長初めご来賓の方々、また、宮城県母子連合会から畠山会長、米山事務局長にもご出席いただきました。大友市長には、ご公務でお忙しい中、毎年総会にご出席いただき、ひとり親家庭の抱える問題に関心を寄せていただいていることがうかがえて、大変心強く感じました。畠山会長には、遠方からわざわざ当会の総会にご出席いただき、心温まるご祝辞をいただき、楽しいトークで和ませていただきました。ありがとうございました。

総会後の講演では、宮城県婦人会館からのご案内による安住陽子先生の優雅なフラダンスを拝見することができ、普段味わうことがないすてきな時間を過ごすことができました。9月3日に名取市文化会館で開催された宮城県母子福祉研修大会には、角田市から21名が参加し、本会の半澤美佐子さんが司会を務めました。

9月30日、10月1日に札幌で開催された東北・北海道母子寡婦福祉大会には、本会から2名が参加しました。厚労省からの行政説明で、本会の活動が福祉施策に活かされていることがわかり、このような大会が要望を伝える良い機会になっていると感じました。また、6月24日、7月1日と2日間にわたって、手芸講習会を開催し、40名が参加し、手提げ袋の製作に取り組み、10月15日に開催された角田市保健福祉まつり「趣味作品展」に、日頃作り溜めた作品等とともに出品し、大勢の来場者に披露し、即売も行いました。

10月28日には、各地区合同の会員研修会を開催し、40名が参加し、情報交換を行いながら、歌や踊りを披露するなど、会員相互の親睦を深めました。

また、事業の一つとして、ひとり親家庭で小学校・中学校に入学する方へお祝いを差し上げております。会員・非会員を問わず、小・中各10名に差し上げることとし、次年度に向けて、会のPRを兼ねて、市の広報等で周知する予定です。



\*\*\*\*\*

### 「気仙沼市母子寡婦福祉連合会」

気仙沼市母子寡婦福祉連合会会長 昆野 牧恵

平成29年度の気仙沼市母子寡婦福祉連合会総会は、2011年の東日本大震災で流出され、新しく建てられた気仙沼市民福祉センター「やすらぎ」で開催しました。「やすらぎ」は災害公営住宅の一階にあり、当会で自販機も設置しています。温もりのある真新しいホールで、29年度を新たな気持ちでスタートすることができました。9月3日名取市での宮城県母子寡婦福祉大会には、初めて本吉母子福祉会の方々と一緒に市の福祉バスで参加しました。菅原ゆり子本吉母子福祉会会長の名進行役で、バスの中は終始笑顔ややかに互いの親交を深めることが出来感謝でした。

平成30年1月21日には、気仙沼プラザで新春交流会を開催し、ご来賓3名と会員32名の参加で、ご来賓や各地区の方々のカラオケや踊り等が披露され楽しいひとときを過ごしました。会の資金作りにとパン販売も一関市や各地区でおこなわれ、マルシェにも出店しました。新規加入者、特に若い方の加入が無いことや会員の高齢化等課題はありますが、会員一同心を合わせ、知恵を出し合い互いに支え合いながら「わが幸はわが手で」を心に刻み歩みを進めていきたいと思っております。

昨年3月に第6代会長であり会の発展のために並々ならぬご尽力いただきました千葉フミ子先生がご逝去なされました。大きな悲しみに包まれましたが、先生のご冥福をお祈り申し上げます。





## 「母子会の現状」

栗原市母子寡婦福祉連合会会長 春成 節子

栗原市は高齢化による自然減と比例して、若い人達の加入が芳しくないのが現状です。幼稚園や学校など訪問しますと、ひとり親が多くなってきております。栗原市だけでなく他の市町も同じだと思います。

一年間の行事も寡婦の会員さんが多いので一泊研修旅行「温泉」や日帰り研修旅行「婦人会館」等計画していますが参加者はいつも同じメンバーになります。将来の母子福祉会を考えますと何となく心配になり深刻になります。何かあるたびに加入促進をお願いしておりますが、今の時代にあった会にするにはどうすれば良いのか悩みのタネです。

私達は若い会員さんを優先していますが、若い人達はメリットありますかと問われます。同じ仲間同士で気の合う友達を見つけいろいろ情報交換をしあい、生きて行くうえでプラスになる事を語り合い、目標を持って頑張りましょうと言っております。今年は一人でも多くの会員が入会してくれる事を期待しております。



## 「りんご狩り」



(志波姫母子会) 菅原 和子

紅葉真っ盛りの志波姫耕土・・・くりこま高原駅を眼下に、11月23日勤労感謝の日、高台にある蓬田りんご園で、恒例の「りんご狩り」を行いました。天気予報では雨でしたが天気に恵まれ楽しく参加いただきました。

志波姫母子会では、長年親子のお楽しみ行事として続けてきた大切な行事です。

最初は小さかった木も、今では大きな立派な木となり沢山の美味しい実をつける様になりました。夏の長雨にもかかわらず、密たっぷりの大粒りんごを沢山収穫。母子会員が木に登っての大活躍。さらに今年は、ひとり2袋ずつ分けて頂き皆大満足の大喜び。(これまでは1袋)

収穫後は暖かい集会所座敷で、イオンの美味しい弁当とラーメン・・・もちろんデザートは取れたてりんごがたっぷり！ これからも諸行事を通して、母子寡婦の交流を深めつつ会の親睦発展に努めていきたいと思っております。



## 「これからの母子福祉会に思うこと」

(築館母子会) S.S

母子福祉会員の高齢化は当地区だけの問題ではないと思いますが、小中学生又は幼稚園児を抱えた母親は、実家の親元に戻り娘時代と同じように甘えて暮らしているように見受けられます。独立した生活が出来るまでの短期間であれば致し方ないかと思いますが、一度世帯を持ち子供もあるなら一日でも早く独立した生活が出来るよう努力して欲しいですね。若年の方は、他人と関わる事が苦手なのでしょうか。

小さな子供を抱えて苦しい生活は充分理解できますが、同じような母子家庭の母とお友達になると、お互いに苦しい時に心の内を話し合っ助けてくれる事が出来るので、大変幸せな時間を共有できます。子供達のために「母が元気で明るい顔で生活する」ことが第一ですね。

子ども達の成長を楽しみに母親たちは手を取り合っ生活して欲しいと願っております。会員数が少なくてもお互いに支え合っもう少し頑張ってみましょう。



富谷市母子寡婦福祉会です。

私たちの会の年間事業を紹介いたします。

- 5月・・・総会 終了後会食会（ランチ）
- 10月・・・ふるさと祭り参加（衣類・雑貨・野菜・  
鉢花などどれも100円バザー）
- 11月・・・焼肉のたれづくり
- 2月・・・味噌づくり
- 3月・・・暮らしの懇談会 日帰りバスツアー（県内）



味噌づくり

毎年同じことの繰り返しですが、焼肉のたれづくりと味噌作りは、JAあさひなの作業場を借りて毎年続けており、今年で5回目になります。いずれも材料代は会の会計から支出し、参加できる会員で作って全員で分けています。焼肉のたれは1.8ℓ、味噌は3kgが一人分です。どちらも味は良く好評で、毎年実施しています。

3月の暮らしの懇談会は、以前は1泊でしたが、会員の意見で日帰りになりました。行先は県内で日帰りです。25年度、丸森齋理屋敷の雛人形を見て、阿武隈舟下り、いちご狩り、26年度は角田の宇宙センターを見学、鳥の海で昼食と買い物、竹駒神社参拝、27年度は石巻女川方面で、石ノ森漫画館、女川で海鮮料理の昼食、大川小学校を慰霊、28年度は、ニッカウイスキー工場見学、レコパンド・カンパーニュでランチ、定義山如来参拝でした。今年度はこれから決めます。味噌づくりの時に相談します。

以上が、富谷市母子寡婦福祉会の事業紹介です。集金は年会費1,000円とバスツアー参加費1,000円のみです。市役所の交流ホールに設置して頂いてる自動販売機の売上の一部を寄付して頂いていること、社協から7万円の助成金が出ていることで、できています。周りの方々のご理解と御協力により成り立っていることにいつも感謝しています。



### ランドセル当選者の声

#### 子どもの声・様子

- ・箱を開けた瞬間、大興奮で目をキラキラさせて、「かわいい〜♡」とお姉ちゃんと二人で大絶賛。
- ・子どもは「ランドセルが当たった時、嬉しい気持ちになった」と言っておりました。
- ・「ママ写真撮って！」嬉しそうにランドセルをせおっていました。
- ・「小学校に行くのが楽しみ」と言っていました。

#### 母親より

- ・半信半疑で応募しましたが、当選の連絡が来てビックリ、母子家庭にとって、こういった援助はすごく助かります。
  - ・ランドセルは高価なものなので、本当にありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。
- 母子家庭の方のために、この企画を続けて行って欲しいです。



## 講習会受講生の声

### 平日コース・ワードを受講して

鈴木 亜希

私がパソコンワードコースを受講したきっかけは、パソコンの機能を覚えて使いこなせるようになり、仕事に活かせるようになりたいとの思いからでした。

パソコンは、タイピングくらいしか出来なくて、初めは授業についていけないのかと不安でした。授業中も分からないことが沢山ありました。そんな中、パソコンの先生は、親切に分かりやすく丁寧に教えて下さいました。「何回もやっていくうちに覚えられるから大丈夫だよ！」と励まして下さりました。とにかく練習を繰り返して、覚えられるように頑張りました。少しずつパソコンにも慣れてきて楽しくなりました。絶対に試験に合格したいという強い気持ちになりました。

一緒に受講した方々とも励まし合いながら、あっという間の2ヶ月間でした。受講している間、母子福祉センターのスタッフの方々には大変お世話になりました。いつも気にかけて下さり、温かい対応と声かけをして下さいました。とても温かい気持ちになり元気ができました。ここのセンターには沢山の情報があり、母子家庭の強い味方なのだと知りました。最後になりますが、この2ヶ月間パソコンの先生をはじめ、センターの皆様にご心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



### 介護職員初任者研修を受講して

氏家 由樹

今は亡き祖父が、病床に横たわる姿を見ていて、人のためになれるような仕事がしたいと思ったのが講習を受ける切っ掛けとなりました。

当時介護について右も左も分からない私は、ただ高齢者の手助けをすれば良いと簡単に思っていましたので、いざ講習を受けてみると介護の世界がこんなにも沢山の技術が必要な事、考えさせられる事がとても多く、奥が深いなあと驚かされたものです。

実際授業はグループワークも多く、色々な場面を想定しながら皆と話し合い、その中で沢山の気づきが出来たと思います。介護の知識や技術はもちろん、先生方の現場経験のお話しも大変興味深いものでありまして、今後介護職に就いた時は、とても役立つと思いました。授業内容も親切で分かりやすく、毎回とても楽しく充実したものでした。実際に身体を動かして覚える「研修」もとても

良かったです。そして、最後に介護はなくてはならないものだという事、超高齢化社会に突入していく中、私たち全員で考えていかなきゃならない絶対に必要な課題だと思いました。今回「初任者研修」を受講して色々なノウハウを学べ、少し成長出来たと思います。本当にありがとうございました。



\*\*\*\*\*

## 母子会・入会のお誘い

同じ立場のひとり親家庭のお母さんたちと仕事・子育て・生活などいろいろな悩みを語り合い、また情報交換しませんか。講習会に参加した受講生のお母さんは、同じ悩みを抱えたお母さんと話が出来て良かったとの声が聞かれます。ぜひ、あなたも母子会に加入して、仲間と一緒に情報交換しませんか。





# お知らせ

## ★ 児童扶養手当の支給

全額支給に係る所得制限限度額を収入ベースで130万円から160万円（扶養親族等の数が一人の場合）に引き上げる。


※ **2018年(平成30年)8月分から実施予定。**

130万  160万円



## ★ 児童扶養手当の支給回数について

2019年(平成31年)11月支給(8月分~10月分)から、  
現行の年3回から年6回(1月 3月 5月 7月 9月 11月)に見直し予定。

年3回  年6回  
(4ヶ月に1回) (2ヶ月に1回)

## ★ 母子父子寡婦福祉資金貸付金【拡充】

ひとり親家庭等の自立を促進するため、大学院への進学を希望するひとり親家庭の子どもを支援するため、新たに大学院に就学するために必要な経費の貸付に係る資金(修学資金及び就学支度資金)創設する。

\*\*\*\*\*

## 平成29年度 県母連事業報告

- 那須ハイランドパーク日帰り旅行(7/16)・・・38名参加(応募者79名)

- ふれあい花山キャンプ(秋編)・・・24名参加  
ふれあい花山キャンプ(冬編)・・・32名参加 } 国立花山青少年自然の家主催

- ランドセルプレゼント・・・12名の方にプレゼント(応募者46名)

- 本プレゼント・・・10名の方にプレゼント(応募者51名)

### ● 楽天観戦ご招待

楽天野球観戦マルテツ様からの御招待に感謝(小学生からの感謝の言葉)

しょうたいしてくれた方に感謝。

わたしは、楽天がとても大好きで、まだかんせんにはいったことがなくてずっと行きたかったのでその日がとてもいい日だったなと思いました。マルテツ工業様にもとても感謝だけでいっぱいです。今日9月10日わすれられないなって思いました。9月10日楽天が勝ってとてもうれしかったです。しかも、今日は、とてもいい席でみられてすごいなと思いました。「なかなかみられない席なんだよ」と言われました。最後かもしれないけど楽しかったし、しょうたいしてくれたマルテツ工業さまにとっても感謝です。ありがとうございました。そして、しょうたいしてくれてありがとうございました。本当にありがとうございました。



平成30年度 県母連 事業紹介  
就業・自立のための講習会（全7講座）

講座名	受講期間	コース	申込み期間
介護職員初任者研修（前期）	4/8～9/30	日曜コース（23日間）	3/12～3/22
マイクロソフトワード2013	4/22～7/29	日曜コース（14日間）	3/19～4/2
マイクロソフトワード2013	6/6～7/20	平日コース（水・金14日間）	5/7～5/17
マイクロソフトエクセル2013	8/19～11/25	日曜コース（14日間）	7/6～7/26
介護職員初任者研修（後期）	9/9～3/17	日曜コース（23日間）	8/6～8/20
マイクロソフトエクセル2013	10/3～11/16	平日コース（水・金14日間）	8/20～9/10
マイクロソフトワード2013	12/2～3/17	日曜コース（14日間）	11/1～11/14

託児無料 3歳～小学3年生まで

県母連関係事業

4月	・夢を応援基金ひとり親家庭支援奨学金募集
5月	会計監査
6月	理事会 評議員会
7月	各地区会長、母子部長、事務担当者合同会議 14(土)親子日帰りバス旅行
8月	各種セミナー
9月	1(土),2(日)東北北海道地区母子寡婦福祉研修大会（青森市） 県・仙台市への要望活動
10月	27(土),28(日)全国母子寡婦福祉研修大会（岡山市）
11月	
12月	・ランドセルプレゼント
1月	・ふれあい花山キャンプ
2月	
3月	・本プレゼント 評議員会 理事会



編

集

後

記

今年度も無事に「白百合」を発行することができ、原稿をお寄せいただいた皆さん、有り難うございました。

これからも皆さんに楽しんで頂ける「白百合」にして行きたいと考えております。皆さんの寄稿を、お待ちしております。 (k)

★ 無料 法律相談（予約制）

毎月第三木曜日  
相談時間：午前10時～正午



★ 就業相談（無料職業紹介）

無料職業紹介所として、求人情報の提供をしております。

相談時間：9時～17時（火曜日 土曜日を除く）